

聖愛

九月号

原町聖愛保育園

二〇〇九年九月一日発行

暑い夏をあまり体験しないうちに、朝晩
ずいぶん涼しくなりました。
今月は、運動会があります。子どもたち
の成長した姿を楽しみにして下さい。

「はっぴー はっぴー わーるど」

うしろのうしろの おやが ほしをくぐった

(ひっかひっか)

ほしほしせいじんか あそぼよ
ちぎめつと おはなし してみたい

△おとなも ことおも うしろのうしろも

ほしほしせいじんか おはなし

はっぴー はっぴー わーるど

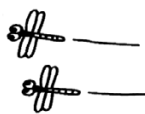
ちぎめつがおねごを だいたいこに

むだに てんきほ つかわな
みずを たいせつに つかおう

じみほ いっぱい だんないで

じろくまんのため
みんなで ちぎめつを ままごよ

△おとなも



作詞 2009年度 つき組
作曲 青田みゆき・渡邊麻由

子どもたちの夢や願い、楽しい想像の世界がたくさんちりばめられた、可愛らしいこのうたは、夏祭りに初めて発表され、夏祭りに来ていた多くのみなさんに聴いていただきました。作詞は、つき組の子どもたち。作曲は担当の保育士。うたが出来てからは毎日、つき組さんたちが喜んでうたうのを年下児も見聞きして、今ではすっかり覚えて気に入ってうたっています。

子どもたちの純粋な願い、直感的な洞察力のある言葉(歌詞)は、たとえばはじめは大人が話していた言葉を使ったものであっても、子ども自身がこれまでに体験したり知ったりしてきた心のフィルターを通ったときに、その子ども自身のものになり、大人へのメッセージにもなります。ぜひ日ごろの生活の中でも、このうたを楽しみながら、子どもたちの願いである、私たちの住んでいる地球を守るために、エゴに心がけた生活が実行できるようにしましょう。

運動会では今度は、三歳児が身体で表現(遊戯)します。ご家族のみなさんも一緒に歌って子どもたちを応援してください。

園長 遠藤美保子



9月の保育目標

主題 0・1・2歳児「あそぼう」 3・4・5歳児「おもしろい」

暗唱聖句 「ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。」 ルカによる福音書19章6節

	保育目標	活動	保育者の配慮
0歳児 てんし	・探索活動を楽しみ、体を使って遊ぶ。	・まてまて遊び ・散歩(園外保育)・砂場 ・上る、握る (滑り台、回転シーソー)	・“見たい”“触れたい”という気持ちを大切に、保育者も一緒に触れながら、様々なものに興味ができるようにする。 ・ハイハイ、一人歩きが十分に楽しめるように、行く先の目的物を決めるなどして歩きたい気持ちを引き出せるようにする。
1歳児 つぼみ	・興味を持ったことを保育者と一緒にやってみる。	・かけっこ、追いかけて ・くぐる、登る、ぶら下がる ・おままごと ・クレヨン、スタンプあそび ・保育者との触れ合い遊び	・子どもたちが、様々な遊びが経験できるような環境を整え、子どもの興味に合わせた遊びができるように準備する。また、保育者がやってみせたり、一緒に遊んだりして、子どもたちの気持ちが向けられるようにする。 ・「自分が」という思いが出てきて、思いが通らなかつたり、上手いかなかつたりすることもあるので、思いを受け止め、自分で出来るように介助する。
2歳児 はな	・保育者や友だちがしていることに興味を持ち、一緒に真似してやってみる。	・散歩(葉っぱ探し、飛行機とばし) ・リズムあそび ・椅子とりゲーム ・型はめあそび ・かけっこ	・一人ひとりの“やってみよう”という気持ちを大切に、誘いかけや、集団遊びの楽しさを味わえるように工夫する。 ・走る、飛ぶ、のぼるなどの運動を促し、体のバランスがとれる機会を増やす。日常の遊びなどを通してやれるようにする。 ・体調の変化を一人ひとり気配りし、生活リズムを整える。
3歳児 ファミリークラス	・全身を使って、のびのびと体を動かし、友だちと楽しむ。	《室内》 ・リズムあそび(なみ) ※1 ・木の実ペンダント(なみ) ※2 ・星座合わせ ※4 ・イメージを膨らませて絵を描く ※4	・保育者の真似をしたり、曲に合わせてりながら一緒に体を動かして踊り、全身を使って表現することを楽しくする。 ※1 ・友だちと一つの遊びを共有することで自分の動きだけでなく、相手の動きにも気が向くよう、声かけしながら働きかける。 ※2
	・力を合わせて遊びを広げる。	《戸外》 ・ボールキャッチ ※2 ・かけっこ ・リレー	・一つのことを友だちと行う中で、力を合わせることの大切さを感じられるようにする。 ※3 ・共通のイメージを持って一緒に行うことを喜び、つながりを深められるよう導く。 ※4
	・一つ一つのことに諦めず取り組み、やり遂げた満足感を味わう。	・飛行機とばし ・ファミリー全員の出し物 ※3 ・鼓笛隊 ※5	・友だちとの関わりを広げ、協調する喜びを感じたり、相手に合わせて助け合ったりして、互いの良さを認め合えるように働きかける。 ※5 ・自ら作り出す喜びを味わい、出来た時の達成感を共に分かち合えるよう、きっかけ作りをする。 ※4

◎ 9月の行事予定 ◎

日	園の行事	職員の予定
1(火)	合同礼拝(ほし・つき)	聖書研究「めぐみの会」
2(水)	子育てサークル(レインボーG)	職員会議
3(木)	運動会総合練習①	構造化会議
7月		社法ちいさな会理事会
8(火)		聖書研究「タラントの会」
9(水)	子育てサークル(ブーさんG) 運動会総合練習②	ケース会議
11(金)	敬老カード届け(つき) 避難訓練 ぎょう虫卵検査 久米本先生指導	
16(水)	子育てサークル(レインボーG)	マネージャー会議
17(木)	運動会総合練習③	
19(土)	運動会(お弁当の日)	
21(月)	敬老の日	
22(火)	国民の休日	
23(水)	秋分の日	休園
24(木)	小人さんの音楽会	給食会議
28(月)	久米本先生指導	園内研修
29(水)	ポップコーン(クラブ活動)	
30(木)	しゃりん梅訪問(ほし)	

体を動かそう

現在の子どもたちの運動機能は、低下してきていると言われてい
ます。出来ないからやらない、やらせないことで、また運動機能が
低下し、悪循環になります。0～5歳の時期、基本的な運動機能を
身につける時期です。保育園では遊びの中で、



休日には、お子さんと一緒に体を動かし、
気持ちよく過ごしましょう。

乳幼児期は、運動機能が未熟で、抵抗力も弱いので、保護を第一に考
えられていますが、この時期はめざましい発達をとげる時です。

運動の発達は、まず、反射的な動きにはじまって、次に首がすわり、
横転に及びます。これができるようになると、座位に進みます。そして、
這うようになり、これで立ち上がる準備ができるのです。次に、つたい
歩きなど経て歩くことができるようになり、2歳になるまでには、走り
出すくらいになるでしょう。

ただし、これらの運動は放置しては起こりません。それ相応の刺
激が必要です。

子どもはいろいろな遊びを通して、運動の経験を重ねていきます。遊
び自体が、簡単にでき、そして楽しく経験できることが大切です。

基本運動では、歩く、走る、跳ぶといった基本的な動きをベースに、
投げる、蹴る、打つ、転がす、引く、握る、振るなどの運動を経験し
ます。また、あそびの中で、これらの要素が複合・連携され、効果的に
経験できるようにします。

これらの運動遊びが、身体的成長の促進に役立つのはもちろん、運動
が楽しく効果的に行われることは、大人と子ども、子ども同士のコミュ
ニケーションや信頼関係を深める大きな機会になります。

(早稲田大学教授 医学博士 前橋 明 著 参照)

<2009年度運動会>

- ・日 時 2009年9月19日(土) 9:00～
- ・場 所 小川町体育館
- ・テーマ 「空」 サブテーマ ～高い・青い・ひかり～

・保育 手作りした蜜蝋キャンドルを灯して過ごしました。
皆既日食の観察。5歳児が、聞いてきた星の話を年下児
に教えてくれました。星座に興味を持って、絵を描いたり、
星座カードの神経衰弱などをしたりして遊んでいます。
年少クラスの子どもたちも、保育者の話に耳を傾け、
空を見上げています。

・夏祭り 5歳児が作った「はっぴーはっぴー・わーど」は、
子どもたちの大好きな歌。うたいながら、子どもたちな
りに様々なことを考えて話がふくらんでいます。夏祭り
のプラネタリウムは、たくさんの星に大喜び。
運動会では、これまでの体験を活かし、競技の中で表現します。

※競技内容等については、後日お知らせいたします。

ご家族の方々、地域の方々に参加できる種目もあります。

※運動会総合練習 園庭 (雨天時 ホール)

3(木)・9(水)・17(木) 9時開始

※最終日(17日)は、役員さんに用具の出し入れを手伝って
いただきます。

●安全のために、子どもの足に合った靴を履かせてください。

総合練習では、日頃の体験や経験を発揮し、運動会へ向けて一人
ひとりが気持ちを高め、楽しみに待てるように一緒に作りあげてい
きます。ご家庭でも、お子さんの
体調管理には留意して下さい。



学生が保育の現場で学びます

生徒たちは、職場体験を通して社会の現場
や福祉に関する理解を深めるために学びます。

- ・石神中学校 9月1・2日 5名
- ・原町第三中学校 9月3・4日 1名
- ・原町第一中学校 9月9・10・11日 3名
- ・原町第二中学校 9月15・16日 7名
- ・相馬農業高等学校 飯館校 9月9・10日 3名

「防災の日」 9月1日

関東大震災(1923年)の教訓を忘れない意味と、この時期に多
い台風への心構えの意味を含めて、1960年に制定されました。

日本地震学会では、2020年末までに宮城沖地震が発生する確率
が約80%と算定しています。災害は、いつどのようにして起こ
るか分かりません。いざという時に備え、避難場所の確認や非常持
ち出し袋を準備しましょう。(中には、一人で持ち出せる最低限の
物。一年に一度は必ず中身を点検し、電池、ミネラルウォーター、
缶詰など古くなっていけば、新しいものと交換しておく。)

この機会に家庭内で不安定な家具、また、危険なものがないかな
ど確認しておきましょう。

保育園では、実際に大地震や災害があった時のことを想定して、
子どもの確実な引渡しの方法を保護者の方と一緒に確認します。

《予告》 総合避難訓練は、10月9日(金)に行う予定です。
より多くの保護者の方が参加して下さるよう、予定に入れて
いただきたいと思います。

お知らせ・お願い

◎ 今月の午睡用タオルケット類の持ち帰り
9月4日(金)、9月18日(金)

◎ ぎょう虫卵検査 9月11日(金)
検査の二日前に、ピンテープをお渡しし
ますので、当日の朝提出して下さい。

◎ 10月1日より衣替え・室内履きの交換
<園服> 半袖 ⇒ 長袖

※名前の記入、サイズをご確認下さい。

※衣類も秋物へ交換して下さい。

<室内履き> ビーチサンダルから通常のシューズに替わり
ます。シューズはサイズを確認して、足に合
った物をお願いします。



◎親子遠足(予告)

日 時 10月17日(土) 17:30～21:30

場 所 飯館村 村民の森 あいの沢

内 容 夜空観測

皆さんで夜空を見上げ、新しい発見をしてみませんか。

※詳しい案内は後日お知らせします。ご予約下さい。